



各位

上場会社名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 竹内 清  
 (コード番号 6629)  
 問合せ先責任者 取締役 水野 雅裕  
 (TEL 052-823-8551)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,700	660	620	690	49.98
今回発表予想(B)	25,600	1,100	1,100	1,150	83.30
増減額(B-A)	1,900	440	480	460	
増減率(%)	8.0	66.7	77.4	66.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は、平成22年4月1日に株式会社タイテックと株式会社エルモ社が経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当連結会計年度が第1期となるため、前期第2四半期実績はございません。

#### 修正の理由

当社グループの第2四半期連結累計期間における業績は、光学事業が順調に拡大したため、好調に推移いたしました。光学事業の主力製品である書画カメラの主たる販売先は文教市場であり、予算執行時期に売上が増加する傾向にあります。特に第2四半期連結累計期間におきましては、平成21年度補正教育予算の執行による国内実需の増加や米国初等教育市場での堅調な需要が売上高に貢献いたしました。

一方、利益面では、上記増収要因に加え、国内外市場での需要増に伴う製造コストの低減や経費の見直し等の要因により、連結利益も当初計画と比較し好調に推移いたしました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間における連結業績予想は、売上高、営業利益、経常利益並びに四半期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、第3四半期以降は為替円高による利益圧迫の懸念や景気回復の見通しも不透明であり、現時点では修正の予定はございません。業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに適時開示にてお知らせいたします。

※当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ会社間での内部取引によるものとなるため、個別業績の開示は省略いたしております。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上